

秋の風が心地よく感じられます。先日の運動会では子どもたちが元気いっぱいに競技、演技に取り組む姿をご覧いただけたと思います。凛々しい上級生の入場行進、まっすぐに歩こうしながらも家族がどこで見てくれているのかが気になる1年生、みんな元気に行進しているだけで嬉しくなりました。保護者の皆さんからの温かい声援がどんなに子どもたちに力を与えてくださったことでしょう。ありがとうございました。

【ペットボトル】

便利さを追求し、極めたものの一つにペットボトルというものがあるのかもしれません。大きさも必要に応じて選択でき、今では飲み物に限らず調味料などもがペットボトルに入れられて売られています。昔は牛乳、ジュースから醤油までが瓶で売られていて、空き瓶のほとんどは再利用されていましたが、衛生面とコスト面を考慮してか、今は瓶で売られているものはあまり見られなくなってしまいました。

今、多くの人がペットボトルから直接飲み物を口にするようになり、それを行儀が悪いと考える人は少なくなってしまったかもしれません。私も、コップを使って飲むことが望ましいと思いながらもやはり便利さを優先してしまっています。ところが、最近では、子どもたちが携帯する水筒までが、同様に飲み物を直接口にするようなものになってきていることを知りました。子どもたちが大きな水筒から直接飲み物を口にする姿は見ていてあまりよいものではありません。ペットボトルならよくて水筒ならよくないう分け方は適当ではないでしょうが、どこまでをよしとするかを皆さんにもお考えいただきたいのです。もしも、コップつきの水筒であれば、駅で水を飲むときもベンチに座って飲む子が増えるような気がします。絶対にこうしなければならないというものではありませんが、皆さんはどういう姿を望ましいと思われるでしょうか。

【通勤途中で見た光景から】

ある日通勤途中に少年サッカーの集団を見かけました。
・・・グラウンドに集まった子どもたちは楽しそうに走り回ったり、ボールを蹴ったりしながら遊んでいて、引率で来たと思われる保護者たちが車から荷物を降ろし、それをグラウンドに運んでいた。・・・

私はその光景を見て、どうして子どもたちが準備をしないのかな、どうして子どもたちに準備を手伝わせないのかな、と疑問に思いました。子どもたちがサッカーに集中できるようにするのもまわりの大人たちの役目ではあるでしょうが、果たして子どもたちはサッカーをするだけでよいのでしょうか。準備や片付けもサッカーというスポーツに含まれるのではないでしょうか。

実は、以前から気になっていることがありました。子どもたちと野球をしたとき、自分のチームが攻撃でも自分の打順がまだまわってこないと分かると、試合と関係のないところで遊び始める子がいるのです。また、バドミントンクラブで、他の子の試合も見るようにあらかじめ伝えておいても、いつの間にか離れたところで遊び始めてしまう子がいます。このように、自分が直接プレーに関わらないときは、まるでその試合と無関係であるかのように行動してしまう子がいるのです。

サッカーや野球、他のスポーツでも何でもそうですが、準備から片付けまでの全てが活動の一環として大事にされなければならないと考えます。そういう一連の活動の中で、実は他の人の関わり方や辛いことを乗り越える術を学ぶのではないでしょうか。運動だけでなく他の習い事などにおいても、主たる活動の充実だけを考えるのではなく、そのときどきの様々な人との関わりからたくさんのこと学んでほしいものです。

【緊急避難場所】

3月の震災から数ヶ月が経ち、子どもたちも通学のことを心配することなく、普通に登下校することができるようになりました。震災の恐さを忘れたのではなく、いつ何があるか分からぬから、一定の備え、心構えをしながら普通の生活を送ることが大切であることが分かったようです。

今回の震災では、私たちの生活する地域では、交通機関が完全に機能しなくなることはありました。建物の倒壊や火災などで命を失うようなことはありませんでした。だからこそ、いろいろなことを想定した対応を考えなければなりません。登下校中に大きな地震が発生したらどうなるかと思うと、とても心配です。3月の震災の際の対応を聞くと、今後の災害のときにも、子どもたちは電車から降ろされて最寄りの避難場所に誘導されるかもしれません。保護者の皆さんには、地震発生時刻から子どもたちがおよそどの辺にいるかを考え、可能な範囲で子どもたちを捜さなければならなくなります。学校としても、災害時に子どもたちがどのような動きをすることになるのかをいくつかの角度から事前に考えておく必要があります。そこで、皆さんのご協力をいただき、各駅から子どもたちが歩いて移動できる範囲内にある緊急避難場所を調べておき、その情報を皆さんで共有できないかと考えています。次の①・②の情報を学校宛のメールでお知らせいただけますと助かります。

① 鉄道名・駅名 ②緊急避難場所（名称・駅から徒歩での所要時間・最大収容人数・電話番号など）

※お知らせいただく緊急避難場所は、第一段階として最寄り駅に近いところとします。そのデータをホームページで公開しながら、徐々に他の緊急避難場所の情報を寄せなければと考えています。